

ラムザウアー交通相談話:電気自動車とガリレオ計画を共同で推進 欧州委員会の タヤーニ副委員長(産業・起業担当)と会談

掲載日	2010年2月24日
国名	ドイツ
分類	環境
出典	連邦交通省
タイトル	Ramsauer: Elektromobilität und Galileo gemeinsam voranbringen Verkehrsminister Ramsauer trifft Industriekommissar Tajani

今日、ペーター・ラムザウアー連邦交通相はベルリンで、イタリア出身のアントニオ・タヤーニ欧州委員会副委員長(産業・起業担当)の訪問を受けた。会談後、交通相は以下のように語った。

「交通政策が常に経済政策・産業政策でもあるという点で、我々の意見は一致しています。ドイツの交通関連産業は280万人分以上の就職口を提供しており、これは全就労人口の約8パーセントにあたります。そのため、根本的な価値を持った機能的な交通インフラは、ヨーロッパ経済の躍進に役立つのです」

会談の焦点は電気自動車プロジェクトとガリレオ計画だった。

ラムザウアー交通相:「我が国は、2020年までに道路を走行する電気自動車を100万台に増やすという計画を掲げていますが、これはまさにヨーロッパの趨勢に乗っているとと言えます。私は技術的に開かれた形での振興のアプローチを支持しています。この分野に制限を課すのは逆効果です。ドイツと欧州委員会はこの点において同じ目標に向かっていきます。我々は電気自動車を成長と雇用のチャンスとしてとらえるべきです。これからは低公害の駆動装置が必要とされています」

また、ガリレオ計画については以下のように語った。

「ガリレオ計画によって、世界規模でハイテク化が進んでいる分野においてヨーロッパの独立性が確保されます。我が国はこのプロジェクトを優先性の高い事業と考えており、欧州委員会との緊密な協力のもとに推進していきます。プレーメンのOHB社が14基の衛星製造を受注*したことによって、システム構築にむけての最初の決定的な方向転換が行われたと言えます。今度はシステム運用に向けて次の段階の契約を迅速に締結しなければなりません」

訳注:

「OHB社が14基の衛星製造を受注」…ガリレオ計画では最大32基の衛星打ち上げが予定されているが、2010年1月7日に欧州委員会は、初期発注分の14基の製造をドイツのOHBシステム社と契約すると発表した。残りの衛星については、OHB社とオランダのEADSアストリウム社のうち有利な提案を行った方に発注する予定。

EUによるガリレオ計画のサイト:<http://ec.europa.eu/transport/galileo>